

都営大江戸線（麻布十番駅）

施設管理者 : 東京都
施設所在地 : 東京都港区
調査見学時期 : 平成 12 年 2 月 24 日

施設概要

都営地下鉄大江戸線では、麻布十番駅を始めとして、地下備蓄倉庫を設置し、食料や、医薬品を用意し、万一の時に地下鉄で避難所に運ぶことになっている。地下鉄の駅に防災備蓄倉庫が併設されるのは全国で初めてである。備蓄食料は、阪神大震災並の 371 万人の帰宅難民を想定している。

駅の工事は開削工事で行い、完成した後に掘削空間に倉庫を建設したので、工事が支障なく、割安で完成された。また、駅の開削範囲全長にわたり、東電青麻洞道（重量約 20t/m）を仮受けして掘削している。

掘削深さは 35～38.6m であり、路下施工の泥水固化壁は 3 軸リバース削孔機を用いる「BHW工法」を採用している。駅舎は地下 6 階の構造となっている。

